

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年10月19日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年10月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【第二セシウム吸着装置ブースターポンプA系入口圧力計からの滴下について】 停止中の第二セシウム吸着装置ブースターポンプA系入口圧力計より10秒に1滴程度の滴下を確認。滴下は受けパン内に収まっている。 その後、弁を閉じ、滴下が止まったことを確認。	GⅢ
2	【5号機T/Bオペフロチラー(A)系トリップについて】 T/Bオペフロチラー(A)系のトリップを確認。現場確認したところ、油圧スイッチが動作していた。	GⅢ
3	【6号機R/B・T/B排気放射線モニタ(A)指示上昇について】 R/B・T/B排気放射線モニタ(A)の指示がゆっくりふらつきながら上昇し、警報が発生。 他のモニタや現場サーベイの線量値に大きな変化がないことから、モニタ単体での故障の可能性が高い。	GⅢ
4	【サブドレンNo. 3集水タンク水位指示不良について】 サブドレンNo. 3集水タンクの水位指示不良を確認。計器交換を実施。	GⅢ